

第77回 国民体育大会剣道競技選手選考会 開催要項

- 1 主催 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人北海道スポーツ協会
- 2 主管 一般財団法人北海道剣道連盟、千歳剣道連盟
- 3 後援 スポーツ庁、北海道
- 4 日時 **少年の部 令和4年 6月25日(土) 午前9時30分 開会 (無観客)**
成年の部 令和4年 6月26日(日) 午前9時30分 開会 (無観客)
- 5 会場 **少年の部(千歳武道館)**
 千歳市あずさ1丁目3-1 電話 0123-22-2100
成年の部(北海道立総合体育センター・サブアリーナ・武道室)
 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 電話 011-820-1703
 ※ 道立総合体育センターの駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。
- 6 参加資格、試合方法及び選手決定
 別記1(少年の部)、別記2(成年の部)の試合要領のとおりとする。
- 7 試合・審判 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則による。
- 8 参加料 (1) 少年の部 1人 **3,500円** (傷害保険料、国体参加料を含む)
 成年の部 1人 **4,000円** (傷害保険料、国体参加料を含む)
- 9 申込方法 (1) **申込締切 令和4年 6月 7日(火) まで(期日厳守)**
 (2) 所属剣道連盟会長が参加者をとりまとめ、別添申込書により申し込むと共に参加料を納入すること。期限後の申込、参加料の納入のない者は受け付けない。また、申込み後の取り消し及び欠場の場合等も参加料は返金しない。
 なお、「少年の部」に出場する場合は、北海道高体連剣道専門部ホームページ(<http://kendo-hokkaido.hokkaido-c.ed.jp>)の「各校顧問用各種download」より申込みフォームをダウンロードし、必要事項を入力後、郵送およびメールでの申し込みのそれぞれを行うこと。
- (3) 申込先「一般財団法人 北海道剣道連盟事務局」 宛
 062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内
- 10 その他 (1) **出場者は、所属剣道連盟名(高校名)及び姓を明記した名札(垂)を着装すること。**
 (2) 目印(タスキ)は、各自で用意すること。

別記1

第77回 国民体育大会剣道競技「少年の部」選手選考会 開催要項

- 1 参加資格 (1) 令和4年4月30日以前から下記のいずれかが高体連支部管内に属していること。
 ア 居住地を示す現住所
 イ 勤務地
 ウ 大学を除く学校教育法第1条に規程する学校の所在地
- (2) 年齢基準等
 ア 平成16年4月2日以降に生まれた者。
 イ 生徒は前年度所定の単位を修得できなかった者、仮進級者、原級にとどまる者は参加できない。(同一学年での出場は二度できない)
- (3) 出場者数は、高体連の支部ごとに次のとおりとする。

| 支部名 | 男 | 女 | 支部名 | 男 | 女 |
|-----|----|----|-----|----|----|
| 函館 | 4 | 5 | 旭川 | 7 | 5 |
| 小樽 | 3 | 3 | 名寄 | 1 | 2 |
| 室蘭 | 6 | 8 | 北見 | 4 | 4 |
| 札幌 | 24 | 24 | 十勝 | 4 | 3 |
| 空知 | 4 | 3 | 釧根 | 3 | 3 |
| | | | 合計 | 60 | 60 |

ただし、男女共に令和4年度全道高等学校選手権大会の個人優勝者及び準優勝者は、支部予選の結果にかかわらず出場できる。

- 2 試合方法 (1) 男女とも個人戦とする。
 (2) リーグ戦方式とする。
 ア 予選リーグ戦 3～4名によるリーグ戦を行う。なお、通過者が決定した場合は、以後の試合は延長戦を行わず引き分けとする。
 イ 決勝リーグ戦 予選リーグ戦の第1位者5名によるリーグ戦を行う。なお、決勝リーグに同一校の選手が複数いる場合、リーグ戦の試合順は同一校同士の対戦を最初に実施する。
- (3) 試合は4分3本勝負とし、延長は時間を区切り勝敗の決するまで行う。なお、リーグ戦の結果、勝数・本数が同数の場合の決定戦は、4分3本勝負とする。但し、決勝リーグ戦において1位及び2位が決定した場合は、以後の試合は延長戦は行わず、引き分けとする。
- 3 選手決定 (1) 男女に決勝リーグ戦における第1位者を選手とする。
 (2) 決勝リーグ戦における、**第2位者は抽選後トーナメント戦を行い**、第1位者を選手に、第2位者を大会前日までの補員とする。

別記2 第77回 国民体育大会剣道競技「成年の部」選手選考会 開催要項

- 1 参加資格 (1) 日本国に国籍を有し、下記のいずれかが北海道である者。
 ア 居住地を示す現住所
 イ 勤務地
 ウ 学校教育法第1条に規程する学校の所在地
 エ 大学生はその卒業高等学校所在地（北海道以外で「ふるさと選手」として登録された者を除く）
 オ 上記ア、イ、ウに属する者は、令和4年4月30日以前から本大会参加時まで、引続き北海道に居住、勤務又は在籍していなければならない。
- (2) 第76回国民体育大会において、他都府県から監督または選手の資格で参加した者は下記を除き参加することはできない。
 ア 令和3年度に学校教育法第1条に規程する学校を卒業した者。
 イ 結婚及び離婚に係わる者。
- (3) 平成16年4月1日以前に生まれた者とする。
 (4) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
- 2 試合方法 (1) 成年男子・成年女子共に次の年齢区分ごとの個人試合を行う。
 ア 成年男子（チーム編成5名）
 (ア) 先鋒 18歳以上25歳未満
 (イ) 次鋒 25歳以上35歳未満
 (ウ) 中堅 35歳以上45歳未満
 (エ) 副将 45歳以上55歳未満
 (オ) 大将 55歳以上
 イ 成年女子（チーム編成3名）
 (ア) 先鋒 18歳以上30歳未満
 (イ) 中堅 30歳以上40歳未満
 (ウ) 大将 40歳以上
 ウ 選手の年齢基準は、令和4年4月1日を基準とする。
- (2) トーナメント戦方式またはリーグ戦方式により行う。
 (3) 試合は5分3本勝負とし、延長は時間を区切り勝敗の決するまで行う。
 なお、リーグ戦の結果勝数・本数が同数の場合は、5分3本勝負とし、延長は時間を区切り勝敗の決するまで行う。
 但し、リーグ戦において通過者が決定した場合は、以後の試合は延長戦を行わず引き分けとする。
- 3 選手選考 年齢区分ごとの第1位者を選手、第2位者を大会前日までの補員とする。
 ただし、監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに伴い、第1位者(代表選手)の中に、「公認スポーツ指導者」(公益法人日本スポーツ協会認定)資格者が含まれない場合は、本大会を参考に選考委員会で、公認スポーツ指導者資格認定者と選手変更し、チームの監督兼代表選手とする。

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。
 競輪の補助事業

